## 自助・・・自らの命は自ら守る!

6月26日には土砂災害を想定した訓練が金山地域で実施され、9月4日には下呂市総合防災訓練が小坂地域をメーン会場に実施されます。

各自治会・自主防災組織でも、様々な防災訓練が計画されます。以前は、消火栓や消火器の使い方といった訓練が主でした。最近では、DIG 訓練が盛んに行われるようになってきました。DIG 訓練とは、災害 (Disaster)のD、想像力 (Imagination)の I、ゲーム (Game) のGの頭文字を取って名付けられた、誰でも行うことができ、誰もが参加できる簡易な災害図上訓練です。



岐阜県「災害図上訓練 DIG 指導者の手引き」から

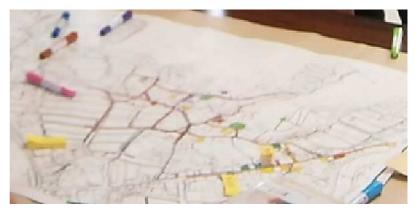
DIG では参加者は大きな地図を囲み、全員が書き込みを加えながら、ワイワイと楽しく議論をしていきます。

初級編(基本的なマップ作り)から中級編(想定される被害を理解する)、応急編(対応策を考える)とありますが、まずは自分たちの住んでいる地域を知ることから始めましょう。どこにどんな危険が潜んでいるのかなど、地図に書き込んでいくことで、起こりうる災害をイメージすることができるようになります。

様々な年代の方が一緒になって地域のことを考えることで、昔は池や沼があって今は埋め立てられている所、かつて大雨で谷があふれた所、崩れた所など、今ではわからないことを知ることができます。

また、こうした話し合いをすることで、地域を知るとともに「人を知る」ことにもつながります。





DIG 訓練の際は、各家庭に配布してあるハザードマップも活用ください。ハザードマップには土砂災害警戒区域(イエローゾーン)や避難ルートが示してありますが、災害の恐れがある場合には、条件によって別のルートを通ることも想定されます。

図上訓練をすることで、あらかじめ危険を回避する手 段を考える良い機会となります。

★下呂市ハザードマップ

次回は、気象警報についてお知らせいたします。